

【農林水産省・財務省・国会議員】

農業農村整備事業に関する

要 望 書

令和5年10月24日

滋賀県土地改良事業団体連合会
国営農業水利事業滋賀協議会

農業農村整備事業の推進について

平素は、本県の農業農村整備事業の推進に対しまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

令和5年度の本県農業農村整備事業の推進に必要な予算の確保、とりわけ、農事用電力料金等の高騰対策を講じていただいたお陰によりまして、本年も美味しい近江米の収穫を迎えることができました。重ねてお礼申し上げます。

さて、今、コロナ感染や国際紛争などを通して、食料安全保障の強化の観点から、ほ場の大区画化や水田の汎用化、麦・大豆や高収益作物への転換、スマート農業の導入など、食料生産を支える農業生産基盤の整備に対するニーズが高まっています。

また、昨年、琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業「琵琶湖システム」が、世界農業遺産に認定され本県農業が世界に認められましたが、このシステムに不可欠なのが農業用水であり、土地改良区による適切な農業水利施設の保全管理により支えられています。

しかし、琵琶湖総合開発で造成された農業水利施設の多くは老朽化が進行し、管路の漏水事故等の突発事故が頻発しており、加速的な保全更新対策が課題となっています。加えて、物価高騰の長期化が施設の保全管理を担う土地改良区の運営にも大きな影響を及ぼしています。

さらに、近年、豪雨や地震などの災害リスクが高まっており、ため池、干拓施設等の防災・減災対策が喫緊の課題となっています。

農村においても、高齢化等により集落機能が急速に低下しており、農業生産活動の維持や、多面的機能を発揮してきた地域の共同活動に対する継続的・安定的な支援が求められています。

こうしたことから、次の事項につきまして、より一層のお力添えをいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 地域の強い要請や資材価格の高騰などの影響を踏まえ、農業農村整備事業関係予算の令和6年度当初予算枠の拡大、及び「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の継続と十分な予算確保
- 2 特に、農地の集積・集約化、麦・大豆や高収益作物への転換、スマート農業の促進を図るなど、地域計画に基づき農業の競争力強化を目指す「農業競争力強化農地整備事業」の当初予算の確保
- 3 農村地域の国土強靱化のため、老朽化した農業水利施設の保全更新対策や豪雨・地震対策等の推進、電力料金等が高騰する状況下でも安定的な用水供給等が可能となる新たな対策の構築や予算の確保
- 4 農業水利施設の管理の省力化・高度化等を図る取り組みを推進するとともに、災害防止をはじめとする多面的機能の持続的な発揮を担う土地改良区の運営基盤強化に対する支援
- 5 農業・農村の人口減少等を踏まえ、集落機能の維持・再生を図る日本型直接支払制度や農村RMOの円滑な実施
- 6 地域の実情に応じた事業の推進
 - (1) 国営総合農地防災事業「近江東部地区」及び国営農用地再編整備事業「東近江地区」の早期事業着手
 - (2) 排水施設の更新整備や堤防の嵩上げなど、機能低下した干拓施設等の計画的な整備に対する支援

令和5年10月24日

滋賀県土地改良事業団体連合会
会長 家 森 茂 樹

国営農業水利事業滋賀協議会
会長 野 田 藤 雄